



アリス病児保育通信

【しつけの言葉に気を付けましょう！】

子どもたちが言葉を覚える順番として、まずは「ママ」「まんま」「ワンワン」などの目に見える名詞から話しはじめます。一方、「楽しい」や「悲しい」などの目に見えない抽象的な言葉を使うには、かなり高度な言語能力が要求されます。つまり、幼い子どもたちは曖昧な表現を理解することが苦手なのです。でもよく考えると子どもをしつけるために使う言葉はほとんどが曖昧です。お母さんたちがよく使う「ちゃんとしなさい。」という表現ですが正解は何なのでしょう？ あなたは答えられますか？ 「きちんとしなさい。」「だらだらしない。」「お利口にしなさい。」と、どれも正解がわからない言葉ばかりです。

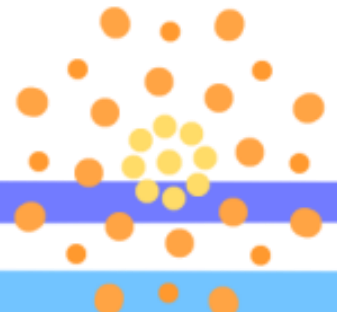


院長 荒木 敦

「お利口」って何?? 例えば「椅子に座って、背中は真っ直ぐに、手はお膝に置いてね。」と言われれば、子どもたちは「ああそうか」と理解しやすいと思います。他にもよく使われる「そんなことしたら笑われるよ。」などという表現は一体何がいけないのか全くわかりません。大阪の子だったら笑われた方が良いのではないかと感じてしまうかも知れません。「〇〇ちゃんこういう時にはこうした方がずっと良いよ!」と具体的なアドバイスをした上で、言う通りにできた子には、思いっきり褒めてあげるのが効果的だと思います。

その他にも「あとでね」という言い方は、どれくらい後なのかかわからないので、子どもたちは不安になってしまいます。「お母さんがこれを終わったらね。」とか「お片付けができたね。」という風に何らかの目安を示してあげるのが良いでしょう。また、「たくさん持ってきて。」という指示も、具体的にはいくつが正解なのか全くわからないので、「あなたの思っている『たくさん』とは何個のことですか?」となってしまう訳です。数がわかる子ならば「積み木を3つ持って来てね。」と具体的な数を示してあげるのが良いと思います。

このように、改めて見直してみると「しつけに使う言葉」は本当に抽象的で曖昧です。もし自分がその言葉を使って叱られたとしたらどうでしょう? どうすれば良いのか、頭に「??」が浮かんだまま、なんとなく良くないことをしてしまったのだろうか、という気持ちだけが残ってしまいませんか? 子どもたちに良い行動を増やしてもらいたいと思うのであれば“できるだけ「具体的」に「わかりやすい」言葉を使ってアドバイスし、できたら褒める”を繰り返すのが効果的です。とはいっても、これがなかなか根気のいる作業なのです。よく子どもには「愛あるダメ出しを!」と言いますが、正確には「愛のある具体的なダメ出しを!」であることを覚えておいて下さい。

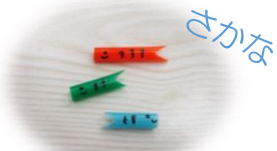


おうちにあるものでできる夏のおもちゃ遊び

ストロー魚つり

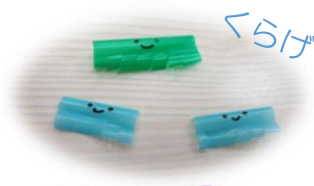
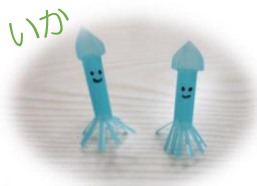
用意するもの

- ・ストロー ・油性ペン
- ・ハサミ ・スプーン（小さいおたま）
- ・すくったものを入れる容器
- ・お水（洗面器やバケツに入れる）



- ①ストローをハサミで自由な大きさに切る。
- ②年齢によって自分で切ったストローに切り込みを入れたり顔を描いたりして海の生き物を作る。
- ③作った生き物たちを水に浮かべて、おたまを手に持ち、魚すくいのスタートです！

自由に切り込みを入れて作った形を活かし、何の生き物に見えるか想像してみたり
いろいろな太さのストローがあるとより楽しめそうです♪



熱中症に気を付けましょう



子どもは体温調節が未熟なため、熱中症にならないように気を付けたいポイントをご紹介します。

- ①規則正しい生活、栄養バランスの摂れた食事をしましょう
- ②脱水に気を付け、水分補給を心掛けましょう
- ③暑い時間の外出は避けたり、戸外で過ごす際は日陰での休憩時間をこまめに取りましょう。
- ④通気性の良い衣服を身に着け、体を冷たいタオルや保冷剤などで冷やしましょう



事前登録をおすすめします

お子様の急な発熱などの不調で保育園をお休みしないといけない…
そんな時は、病児保育室をご利用ください♪

【登録受付時間】

平日/10:00~11:00 12:30~15:00
土曜/10:00~12:00

アリス病児保育室
〒535-0022
大阪市旭区新森4-13-17
TEL: 06-6952-4561